

県の予算(令和6年度)

県の仕事を進めるためにはお金が必要です。県にどれだけのお金が入ってきて(歳入)、どのような仕事にどれくらいのお金を使うか(歳出)という1年間(4月から翌年3月まで)の計画を「予算」といいます。

県の仕事はみなさんの生活と直接結びついていますから、この予算はとても大切です。知事や県の職員がよく考えて予算の案をつくり、県議会で慎重に話し合っ、はじめて予算が決まります。

令和6年度の一般会計には、県民のみなさんの税金や、国からの交付金など、6,145億円のお金が入ることになっています。このお金を、琵琶湖の環境を守ることや、だれもが住みよいまちをつくるためなど、よりよい滋賀県になるように、県のいろいろな仕事に使います。

